

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

事業所名: TODAY is New Life 古正寺

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	・基準は満たしているが、個別対応できる別スペースがあるといい。 ・定員が最大になった際に広さが足りない。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	・土日は職員が足りない。児童の人数を調整するなどするべき。 ・毎月シフト会議にて調整しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	・おおむね分かりやすくなっているが、足りないところは絵カードなどを使う等して配慮している。 ・水盤の場所に鏡があると自ら身だしなみを気を付けるきっかけとなりもっと良いと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1	・毎朝15分間、環境整備を作業分担表に沿って実行している。 ・年長児と年少児では身体面で差があるので、活動内容を変えるなど工夫が必要。 ・子どもたちが自発的に必要なものを出し入れすることができる環境だともっと良くなると思う。 ・毎朝、夕に掃除をしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	・申し送り、振り返りのMTGを行い、情報共有と支援について検討。児童MTGを行っており、日々検討→実行→アセスメントを繰り返している。 ・知ってはいるが、行動はできていないため、今後しっかり読み、落とし込んでいきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	・公開しているのか職員があまり周知できていない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	・第三者がどこにあたるのか分かっていない。当事者のみが関わっていないことが多く感じる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・毎週金曜日午前中半日を使い、定期的な研修をおこなっているが行っている他、申し送り時にマニュアルの読み合わせロープレ実施。 ・毎週金曜日午前中に研修を行っています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		・児童MTGにてニーズや課題に応じた支援ができているか検討。支援会議前には児童の現状、課題について話し合った上で、児発管が会議に参加する。 ・こまめに面談を行い、送迎時にも保護者と積極的にコミュニケーションを図り、課題を分析している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	・アセスメント表、アセスメントチェックシートを用いて状況把握をしている。 ・アセスメントツールが何かを理解していない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		<ul style="list-style-type: none"> サービス提供記録作成時に、目標達成度と具体的な目標達成状況を振り返り記述している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 毎日、主担当を決め、主担当をリーダーとして申し送りプログラムを共有し、役割分担をして支援している。 朝礼時などで全体で話し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 毎月テーマ、目的を決めて計画的に行っている。 毎月プログラムを変更しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性課題に応じて、作成。児発管が現場に入り、状況把握をしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 定時に申し送りの時間を確保している。 朝礼時に内容の打ち合わせをし、共有している。 毎朝申し送りにて共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 定時に振り返りの時間を確保している。 振り返りにて改善、改良しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 児童個々の支援記録とともに、支援に関する情報共有をチャットワークを用いて共有している。 担当を決めているわけではなく、その日ごとにお子さんの記録を書いているので全員で支援の行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> モニタリング、事業所内支援会議にて見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 児発管が基本的に参加。又は現場の長が参加している。児発管も適宜、現場に入り、状況把握している。 事前に職員間で子どもの様子を共有し、全体把握をしている。所長、副所長が対応をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 要対協担当者との情報共有をしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> すこやかファイル記載でのやり取り含め、保護者を間に挟んだ形の間接的なやり取りが多く、直接的なやり取りが少ない。(園送迎の場合は、保育園とのやり取りがある)
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者を介した間接的なやり取りにとどまっている。(看護師がいないため、医ケアは受け入れていない) 分からない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 支援会議に参加し、情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> 引継ぎ会への参加を予定している。(2月末～3月)
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 支援会議にて、連携を図っている。 市の研修会(勉強会)に参加。 助言や研修が行われているのか分からない。どのような支援が子どもにあっているのかをモニタリングさん海外でも連携をとれるといい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童の園には通信で活動内容知らせている。近隣公園や子育て支援施設での活動はするが交流は少ない。 子どもの人数などを見て、支援施設などへ行っている。 障害のない子どもと関わる回数を増やした方がよい。また、通園している場合はどのように縁で過ごしているのか見るべき。 戸外活動で障害のないお子さんと関わる機会もあります。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4	・会議が行われていることを理解していない。またその内容をもっと周知する必要がある。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・サービス提供記録でのお伝え、口頭やLINE、電話にて相談対応している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3	・座談会、放デイ説明会の開催。 ・そのようなプログラムがあるのか分かっていない。専門的な分野の職員からしっかりとした根拠の元支援できると良い。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		・契約時に対面で説明。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・定期的に面談希望を伺っている。 ・保護者対応で細かく説明している。また、自身が分からない点については職員間で共有し、連絡することもある。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		・保護者会を開催し、参加を募っている。 ・座談会など開催している。 ・頻度は少ないため、都合がつく保護者とそうでない保護者がいると思う。回数を重ねることで、相談しやすい雰囲気になると思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		・口頭やLINEでご相談があった場合、すぐに職員間で共有し対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・月に一回通信を配布。連絡はLINEの一斉配信。 ・ライン配信やインスタ投稿などでイベント情報の配信をしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		・記録はダブルチェックを毎日行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	・あまりオープンではないと思う。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	・回数を多くすることで、職員の意識が高まる。 ・救命救急や避難訓練を行っています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	1	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3	・事例は話し合っているが、実際に書類として出していない。 ・全職員で共有しあっています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		・定期的な研修機会がある。 ・虐待研修を行っています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		